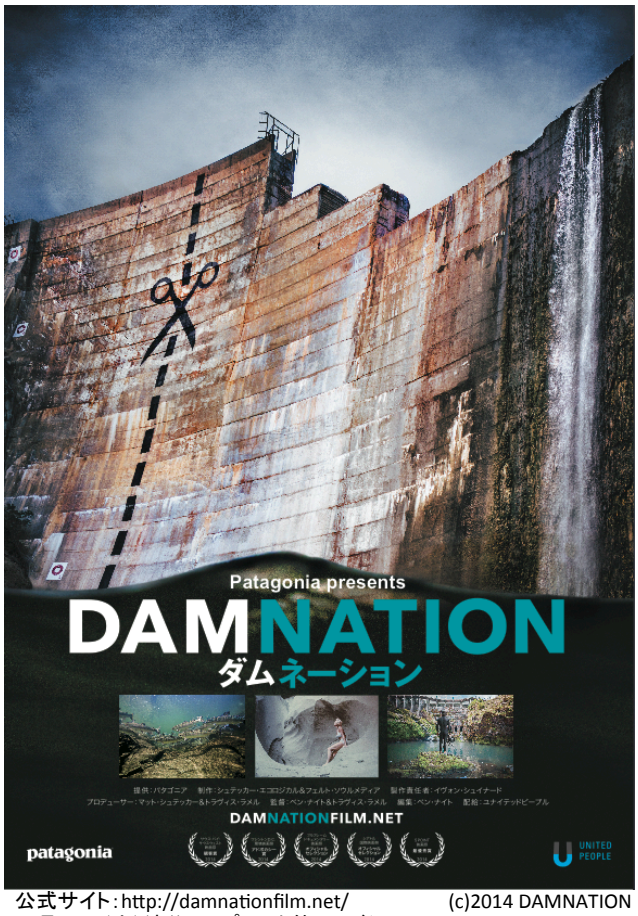
ESD映画試写会とトーク

「アメリカの河川と人の付き合い方」



公式サイト：http://damnationfilm.net/　(c)2014 DAMNATION
11月22日（土）渋谷アップリンク他ロードショー

■日時：2014年10月4日（土）
14:00（開場13:30）～16:50（終了予定）

■場所：愛知県図書館5階大会議室
名古屋市中区三の丸1-9-3　Tel 052-212-2323
→地下鉄　鶴舞線または桜通線「丸の内」下車
8番出口から徒歩5分
※公共交通機関をご利用ください

■参加無料/定員200名

■プログラム
1. 挨拶：小島敏郎（愛知県政策顧問）
2. 『ダムネーション』上映（アメリカ・ドキュメント映画）
3. トークイベント
今本 博健 氏（京都大学名誉教授）
辻井 隆行 氏（パタゴニア日本支社長）
蔵治 光一郎 氏
（東京大学演習林生態水文学研究所准教授）
保屋野 初子 氏（ジャーナリスト・
都留文科大学非常勤講師）
司会：原田 さとみ 氏

【開催趣旨】 映画『ダムネーション（原題：DAMNATION）』を題材として、アメリカの河川と人の付き合い方について学びます。河川は人にとって洪水などによる被害をもたらすものであり、一方で生活と実りになくてはならない水をもたらすもの、そして自然の恵みをもたらすものです。河川と人との付き合い方、ダムの成り立ちや河川政策などは、国によって特徴があり歴史があります。アメリカのダムと言えば、ニューディール政策で推進されたコロラド川のフーバーダムや、テネシー渓谷のダムが有名ですが、近年、アメリカの河川政策、ダム政策は大きな変化を遂げています。日本での河川と人の付き合い方を考えるにあたって視野を広く世界に広げて考える、その例として、アメリカの河川と人の付き合い方、治水・利水・自然の恵みについて総合的に学びます。

【主催】 小島敏郎愛知県政策顧問＆ダムネーション上映とトーク愛知実行委員会
【協力】 パタゴニア日本支社、リバーポリシーネットワーク（RPN）
【連絡先】 ダムネーション上映とトーク愛知実行委員会 事務局
E-mail:　kunikotakagi@yahoo.co.jp　Tel 090-7952-2882（高木）
参加ご希望の方はメールでお申込みください。予定人数に達した段階で締め切らせていただきます。

パートナーシップ事業
ESD
AICHI-NAGOYA

■ドキュメント映画『ダムネーション』について

アメリカ全土につくられた7万5千基のダム。それらの多くは、川を変貌させ、魚を絶滅させ、それにもかかわらず期待される発電・灌漑・洪水防止のいずれにおいても低い価値しか提供していない。
むしろダムの維持には高い経済的コストもかかっている。

そんな負の面ばかりのダムを「撤去」する選択が、アメリカでは現実になってきた。だが「ダム撤去」が当たり前に語られるようになるまでには、「クレイジー」と言われながらも、川の自由を求め続けてきた人びとの挑戦があった。彼らのエネルギーにより「爆破」が起こるドキュメンタリー。

提供：パタゴニア
制作：シュテッカー・エコロジカル&フェルト・ソウルメディア
製作責任者：イヴォン・シュイナード
プロデューサー：マット・シュテッカー&トラヴィス・ラメル
監督：ベン・ナイト&トラヴィス・ラメル
配給：ユナイテッドピープル　原題：DAMNATION　87分/アメリカ/英語/ 2014年

■トークイベント参加者のプロフィール

今本博健　●いまもと　ひろたけ
京都大学名誉教授、水工技術研究所代表。専門は河川工学、防災工学。京都大学防災研究所を停年退官後、淀川水系流域委員会委員長、長良川河口堰検証専門委員会共同座長などを歴任。著書に『ダムが国を滅ぼす』(扶桑社)ほか。

辻井 隆行　●つじい　たかゆき
パタゴニア日本支社長。早稲田大学卒業。1995年、同大学大学院社会科学研究科修士課程修了後、シーカヤック専門店「エコマリン東京」に勤務。1998年、カナダ西海岸に遠征し、帰国後、冬は長野県でスキーパトロール、夏はカナダでシーカヤックガイドなどをして過ごす。1999年、パートタイムとしてパタゴニア東京・渋谷に入社し、鎌倉ストア、マーケティング部、ホールセール・ディレクター、副支社長を任。2009年より現職。

蔵治 光一郎 ●くらじ　こういちろう
1965年東京都生まれ、東京大学農学部林学科、同大学院博士課程修了。青年海外協力隊員、東京大学助手、東京工業大学講師等を経て、現在、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授・附属演習林水文学研究所長。専門は森林水文学、森・水と人間の関係。現場の課題解決に総合的な視点から取り組む市民活動実践者でもある。著書に『森の「恵み」は幻想か―科学者が考える森と人の関係』（2011年）など。

保屋野 初子 ●ほやの　はつこ
環境ジャーナリスト。都留文科大学非常勤講師。東京大学大学院新領域創成科学研究科修了（環境学博士）。水道、ダム、流域など水に関わる社会的な問題を主なテーマに取材・調査・研究をし、伝えつづけている。主な編著書に『川とヨーロッパ―河川再自然化という思想』『緑のダムの科学―災害・森林・水循環』（いずれも築地書館）、『流域管理の環境社会学―下諏訪ダム計画と住民合意形成』（岩波書店）など。

原田さとみ　●はらだ　さとみ
エシカル・ペネロープ（株）代表取締役、フェアトレード名古屋ネットワーク副代表、JICA中部オフィシャルサポーター。モデルデビュー後、東海圏を中心にタレントとして活動。パリ留学を経て、’10年エシカル・ペネロープ（株）設立。’11年、フェアトレード＆エシカル・ファッションのセレクトショップ「エシカル・ペネロープ TV TOWER」オープン。環境・人・社会に配慮した持続可能なエシカルの普及を通じて、国際協力・地域貢献を展開。名古屋でのフェアトレードタウン認定を目指す運動を展開。